

測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-111602** 測定時間 **15分** 測定日 **2012/11/16**
 日暮里放射能測定所 **-にっこり館-**
 3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **900cc マリネリ**
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **468.0g**

検体名	飲料水	牛乳	乳児用食品	一般食品	
浦安市/どんぐり/弁天よい子の広場	10	50	50	100	基準なし

セシウム137		セシウム134	
参考値	50.9 Bq/kg	参考値	29.8 Bq/kg
検出限界	7.8 Bq/kg	検出限界	8.6 Bq/kg
不確かさ	±6.4 Bq/kg	不確かさ	±6.0 Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	80.7 Bq/kg		
	不確かさ	±8.7 Bq/kg	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **0.58μ Sv**
 年間(365日)累計 **0.21mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **1.83μ Sv**
 年間(365日)累計 **0.67mSv/y**

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。
 kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日をかかけたものです。
 (検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。
 従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、
 当施設の関与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた
 検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。

◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の
 提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規
 のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器
 での検査が必要となります。